

製品名 取替用こたつヒーター NYH-FD600S

こたつの「品名」および「型名」は天板を外し、こたつ本体上面の貼付けラベルをご参照ください。

お客様へのお願い

この商品はこたつ専用の交換ユニットです。
こたつ以外の用途には絶対に使用しないでください。

最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOKを
チェック!



随時情報を更新中!

取扱説明書・保証書

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い
ください。

- ご使用前に「**安全上のご注意（1～7ページ）**」を**必ずお読みください**。
- 保証書は裏表紙についています**。「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。
- この商品は日本国内専用で、海外ではご使用いただけません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 取扱説明書のイラストと実際の製品の形状が異なる場合があります。

もくじ

ご使用前に

- 安全上のご注意・・・・・・・・・1～7
危険・警告・注意
- 各部の名称・・・・・・・・・・8

取替え方

- ヒーターユニット取替え前の確認・・・・・9
- ヒーターユニット取替え方法・・・・10～11

使い方

- ご使用の準備・・・・・・・・・・12
- ご使用の順序・・・・・・・・・・13
- こたつの使い方・・・・・・・・・・14
- 知っておいていただきたいこと・・・・15

必要なときに

- お手入れと保管の方法・・・・・16
- 故障かな？と思ったら・・・・・16
- ヒーターユニット仕様・・・・・17
- 保証とアフターサービス・・・・18
- 保証書・・・・・・・・・・裏表紙

安全上のご注意(必ずお守りください)

※ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

このこたつは、ヤグラに布団をかけて使用するもので、採暖を目的とした一般家庭用として生産されたものです。これ以外でのご使用は絶対にしないでください。
この用途以外(観賞魚、植物、ペットなど)及び一般家庭用以外(業務用など)でご使用になった場合の故障・修理・事故その他の不具合について責任を負いかねますのでご了承ください。

表示について

※ここに示した「安全上のご注意」は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのもので、「危険」「警告」「注意」の3つにわけてお知らせしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。



危険

取り扱いを誤ると死亡または重傷を負うさし迫った危険の発生が想定される内容を示します。



警告

取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。



注意

取り扱いを誤ると障害を負う可能性または物理損害のみが発生すると想定される内容を示します。

表示の例

・お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し、説明しています。
(下記は絵記号の一例です。)



この記号は、してはいけない「禁止」内容です。



この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



危険



就寝用として使用したり、乳幼児や自分で温度調節ができない方、皮ふ感覚の弱い方は、付き添いなしでは使用しないでください。

- 低温やけどや脱水症状を起こすおそれがあります。



低温やけどや脱水症状を起こすおそれがあります。

- 比較的低い温度(40～60℃)でも、長時間皮ふの同じところに触れていると低温やけどのおそれがあります。つぎのような方がご使用のときは特に注意してください。

お子様、お年寄り、皮ふの弱い方、眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方、深酒、疲労の激しい方。

- 時々体を動かすなど注意して使用してください。



警告



小さなお子さまが単独で使わないようご注意ください。



絶対に分解したり・修理・改造を行わないでください。

分解禁止

- 火災・感電・ケガの原因となります。



交流100V以外では使用しないでください。

- 異常発熱して、火災の原因になります。



電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたりしないでください。

- 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。差し込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

- 感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。電源コードや差し込みプラグが傷んだり器具用プラグが破損しているときには使用しないでください。

- 感電・ショート・発火の原因になります。電源コードは同梱のこたつ以外に使用しないでください。

- 火災や感電、やけど、故障の原因になります。

保証とアフターサービス

保証について

- この製品には保証書がついています。保証書はお買い上げの販売店で「販売店名」と「お買い上げ日」を記入してお渡します。所定事項の記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。
 - 保証期間はお買い上げ日から1年間です。保証書の記載内容によりお買い上げの販売店が修理いたします。なお保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
 - 保証期間経過後の修理は販売店にご相談ください。
 - 修理によって機能が回復、維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。
 - ヒーターユニットの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

- アフターサービスについてご不明な場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。
- 転居や贈答品、その他お買い上げの販売店でアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談窓口にご相談ください。

個人情報の取扱いについて

- お客様の個人情報や相談内容を、ご相談への対応や確認などのために利用いたします。またその記録を残すことがあります。
- 個人情報や相談内容は適切に管理いたします。
- 修理等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

こたつに関するご相談は

山善サポートセンター



ナビダイヤル

0570-00-2112

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

受付時間：月～金曜日 午前10:00～午後5:30

(土・日曜日・祝日・年末年始は休ませていただきます。)

メールでのお問い合わせ：

E-mail : support@qriom.com

ヒーターユニット、電源コードに関するご相談は

株式会社 **JA**



フリーコール

0120-11-2143

受付時間：月～金曜日

午前10:00～12:00／午後1:00～5:00

(土・日曜日・祝日・年末年始・盆は休ませていただきます。)

〒411-0907 静岡県駿東郡清水町伏見209-1

ヒーターユニット仕様

2025 年度製

型番	NYH-FD600S	温度調節方式	サーミスタと温調ダイヤルによる通電時間制御
定格電圧	交流 100V 50/60Hz	温度過昇防止器	温度ヒューズ (133℃、10A)
定格消費電力	610W	寸法	縦 29 cm × 長さ 29 cm × 高さ 6.0 cm
発熱体	石英管ヒーター 300W 2 本	コード	温調コントローラー (NKC-304L) 丸打ちコードタイプ 3m
ファン・モーター	プロペラファン・電磁誘導電動機		
目盛り		強	弱
1 時間あたりの標準消費電力量※		約 183 Wh	約 96 Wh
1 時間あたりの電気代※		約 5.7 円	約 3.0 円

- 電気代は、新電力料金目安単位として1kWhあたり31円（税込）で計算しています。
ただし、電力会社及びご家庭の電力使用量。器具の使用条件などにより多少異なります。
 - この製品は海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY
 - この製品に付属している専用コードセットは、他の器具にご使用になれません。
 - 改良のため、仕様は予告なく変更することがあります。
- ※室温20℃の環境で、80×80×38cm卓にヒーターを設置し、厚さ約5cmの綿布団をかけて5時間運転した時の1時間あたりの平均値です。

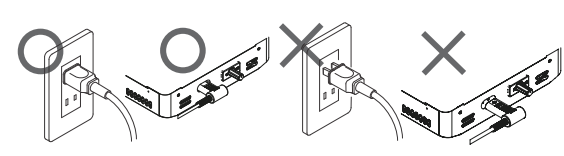
安全上のご注意(必ずお守りください)

警告



強制

電源プラグと器具用プラグは根元まで完全に差し込む。

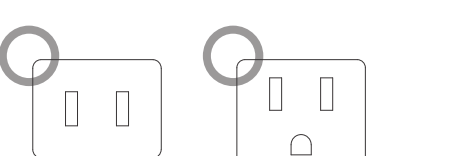


差し込みが不完全ですと、ほこりや湿気などが付着し火災や感電の原因になります。傷んだ電源プラグや器具用プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。



強制

交流100Vの電源、定格15A以上のコンセントを使う。

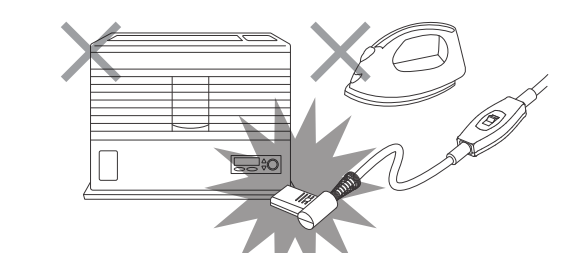


たこ足配線などでコンセントの定格を超えると発熱による火災の原因になります。



禁止

電源コードは同梱の電気こたつ以外に使用しない。

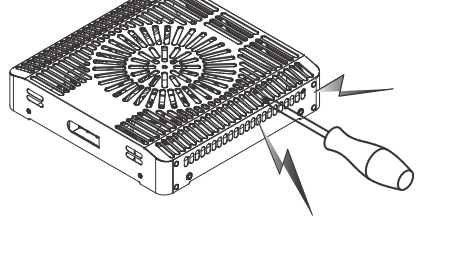


火災や感電、やけど、故障の原因になります。



分解禁止

分解や修理、改造をしない。

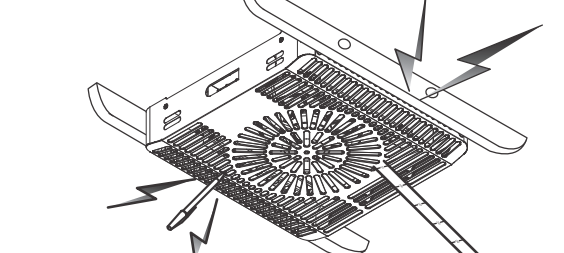


火災や感電、けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

ヒーターユニットの中に異物(紙や布、金属類など)を入れない。

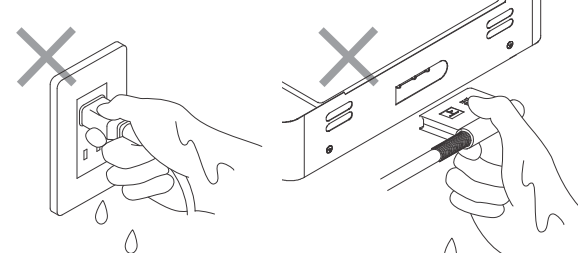


火災や感電、やけど、故障の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグや器具用プラグを抜き差ししない。



火災や感電、やけど、故障の原因になります。

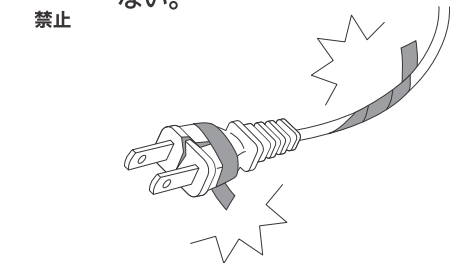
安全上のご注意(必ずお守りください)

警告

禁止 電源プラグや電源コードを交換したり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしない。

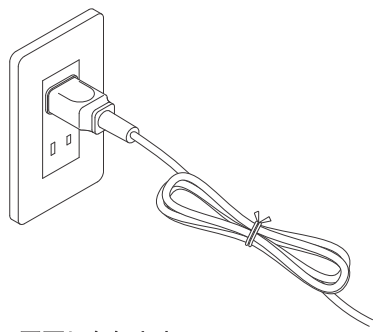
火災や感電の原因になります。傷んだプラグやコードは、絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。プラグやコードが破損したときは直ちに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。

禁止 傷んだ電源プラグや電源コードの部品は、絶対に交換、分解、修理、改造をしない。



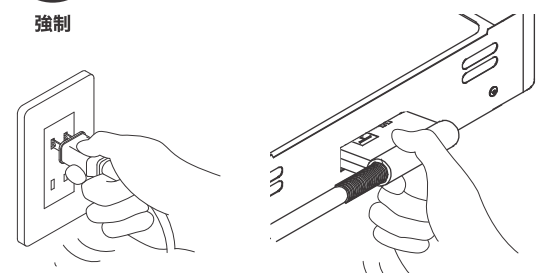
火災や感電の原因になります。電源プラグや電源コードが破損したときは直ちに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。

禁止 電源コードを束ねたまま通電しない。



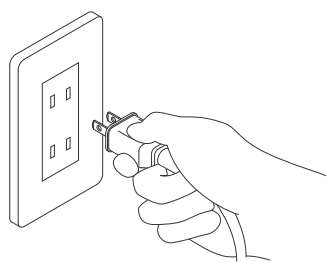
火災や感電の原因になります。

強制 電源プラグや器具用プラグの抜き差しは、プラグを持っておこなう。



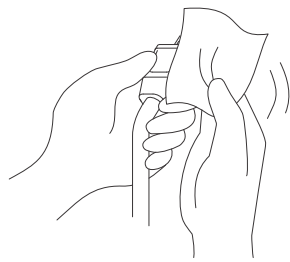
電源コードを持って抜き差しすると断線やショートを引き起こし、火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く 使用しないときは電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。



コンセントに接続したままにすると、火災や感電、けがの原因になります。

強制 電源プラグは定期的に掃除する。



電源プラグにほこりや湿気がたまると、火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

お手入れと保管の方法

お手入れ前に

- 温調コントローラーのダイヤルを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体を十分冷ましてから(約30分)お手入れをしてください。

ヒーターカバーのお手入れ

- ヒーターカバーについてごみやほこりは掃除機で吸い取ってください。
- 自転車の空気入れなどでごみやほこりを吹き飛ばすとより効果的です。
- ごみやほこりが大量に付いたまま使用すると、発煙や異臭の原因となります。

テーブルのお手入れ

- 台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した布で拭き取ってください。その後洗剤や水分が残らないようにしっかり乾拭きしてください。
- ワックスやクリーナーを使用するときには、説明書をよく読み、ご理解の上ご使用ください。

保管

- 保管の前にヒーターカバーのお手入れをしてください。
- ごみやほこりが被らないようにこたつを覆い、湿気の少ない場所に保管してください。
- 脚や付属品を紛失しないようお気をつけください。

故障かな？と思ったら

● 故障かなと思った時は、つぎの点をお調べになってからお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談してください。

症 状	確 認	処 置
運転しない	プラグがコンセントや本体から抜けていませんか？	プラグをコンセントや本体に差し込んでください。
	ご家庭のブレーカーが「切」になっていませんか？	ブレーカーを「入」にしてください。
	ダイヤルが「切」になっていませんか？	ダイヤルを右に回して「弱」から「強」にしてください。
	温調コントローラーが布団で包んだり、こたつの中に入れていませんか？	温度スイッチが温度を感知しています。温調コントローラーを天板の上などにおいて冷ましてください。温度が下がれば自動で運転します。
ヒーターが点灯しない ヒーターが使用中切れる ヒーターがついたり、消えたりする	内部温度は高くないですか？	温調コントローラーやこたつ内部が冷めれば自動で通電します。
	温調コントローラーが熱くないですか？	ご使用の環境やふとんの厚みなどで点灯までの時間は変わります。
異音がする	常に聞こえる音ではありませんか？	ファンやモーターの動作音です。故障ではありません。
においがする	はじめてのご使用ですか？	塗料や接着剤のにおいです。ご使用に伴い次第に消えます。
	ヒーターカバーやヒーターの周辺にほこりが付いていませんか？	掃除機などでほこりを取り除いてください。
煙がでる	はじめてのご使用ですか？	生産時に残ってしまった油によるものです。ご使用に伴い出なくなります。
	ヒーターカバーやヒーターの周辺にほこりが付いていませんか？	掃除機などでほこりを取り除いてください。

これらの処置をしても直らない場合、この表以外の症状はお買い上げの販売店にご相談ください。

ご相談の際にはお手数ですが「品名」および「型名」をお調べの上、販売店までご相談ください。「品名」および「型名」は天板を外し、こたつ本体上面の貼り付けラベルをご参照ください。

知っておいていただきたいこと

- ヒーターユニットについて
 - ・初めてご使用になるときは塗料の臭いや煙が出る場合があります。ご使用とともに次第に消えます。
 - ・器具用プラグが熱く感じられる場合があります。これはヒーターユニットからの熱によるもので、異常ではありません。
- ヒーター(発熱体)について
 - ・電源を入れてから熱を感じるまでに20~30秒掛かります。
 - ・ご使用中にヒーターがついたり消えたりします。これは、温度センサーが熱を感知して通電を制御しているからです。**故障ではありません。**
 - ・ヒーターに付着したほこりなどが焼けて臭いが出る場合があります。
- ヒーターカバーについて
 - ・経年劣化等により、ヒーターカバーが変色することがあります。
 - ・カバーに変形、割れのあるものは電源を切り、絶対に使用しないでください。
- 温調コントローラーについて
 - ・温調コントローラーに内蔵されている電子基板と機器側のプラグに内蔵されている温度センサーで、ヒーターへの通電を制御しています。
 - ・温調コントローラーを包んだり、こたつの中に入れてご使用になる場合、温度センサーが温度を感知して通電をしなくなる場合があります。
 - ・温調コントローラーを天板の上などに置いてコントローラーを冷ましてください。
 - ・温度が下がると、自動に通電をします。
- ファンモーターについて
 - ・ご使用中に微弱な回転音や振動があります。これは内蔵されたファンやモーターによるもので故障ではありません。
 - ・モーターの磁気の影響を受け、テレビやパソコン、携帯電話などの画面に歪を生じることがあります。
 - ・このような場合は、こたつや温調コントローラーから50cm以上離してご使用ください
- 天板の結露(水滴)について
 - ・お部屋の湿度が高いときやふとんが湿っているときなど、天板に水滴がつくことがあります。水滴は乾いたタオルで拭きとってください。
 - ・水滴の量が多いときは、天板とふとんの間に乾いたタオルを敷いてください。水滴の量を抑えることが出来ます。
 - ・時々ふとんを干すようにすると、より結露を防ぐことが出来ます。
- 天板の温度(上昇)について
 - ・天板の材質・構造やふとんが薄い場合によっては天板上面の温度が上がりやすくなりますが異常ではありません。
- お客様による修理について
 - ・個人へ修理部品の供給はおこなっていません。
 - ・お客様によるヒーターユニットや電源コードの分解、修理の痕が見られる場合は、保証対象外になることがあります。
- 経年劣化について
 - ・長期間使用したこたつは、火災などの事故につながる恐れがあります。安心してお使いいただくため、定期的な点検をおすすめします。点検に関するご相談はお買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。
- 温度ヒューズについて
 - ・温度ヒューズが溶断した場合、基盤や温度センサーの不具合とされます。
 - ・お客様ご自身の修理は危険ですので、販売店にお問い合わせください。

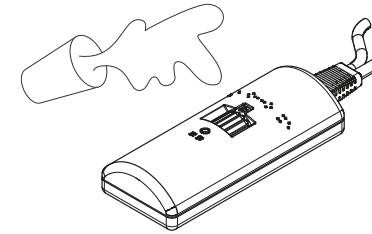
安全上のご注意(必ずお守りください)

⚠ 警告



水ぬれ禁止

温調コントローラーに水などを掛けない。

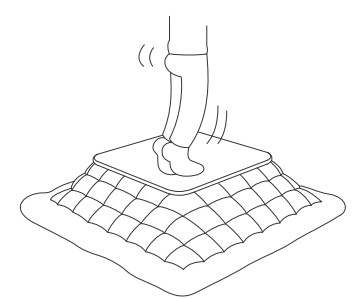


火災や感電、漏電の原因になります。
水が掛かったときは、直ちに使うのを止めて、お買い上げの販売店に点検をお受けください。



禁止

天板の上に座ったり、踏み台にするなどのご使用や、乱暴な取扱いは避ける。

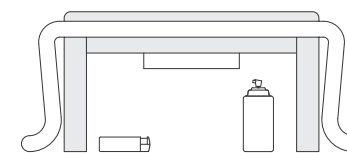


けがや故障の原因になります。



禁止

ライターやスプレー缶等をこたつの中に置かない。

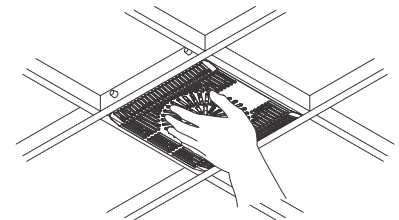


爆発や火災の原因になります。



禁止

使用中や使用直後はヒーターユニットに触れない。

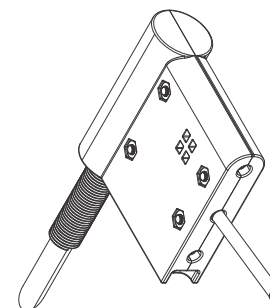


やけどの原因になります。



禁止

器具用プラグに異物を入れない。

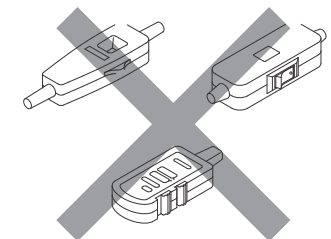


火災や感電、故障の原因になります。



強制

電源コードはヒーターユニット付属のもの、または専用の交換品を使用する。



他社製や専用以外の電源コードを使用すると、誤作動を起こし、火災や故障の原因になります。

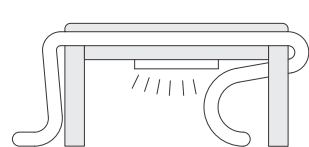
安全上のご注意(必ずお守りください)

⚠ 警告

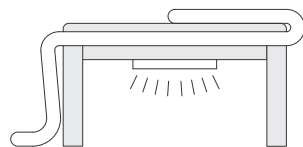


禁止

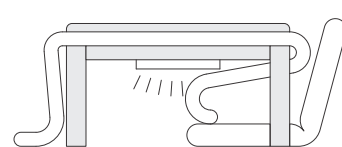
ふとんをこたつの中に押し込んだり、片開きで使用したり、座いすやソファをこたつの中に過度に入れて使用しない。ふとんがヒーターに接触し火災の原因となります。また座いすやソファの破損へもつながります。



ふとんをこたつの中に押し込んで使用しない。



ふとんを片開きにして使用しない。



座いすをこたつの中に入れて使用しない。

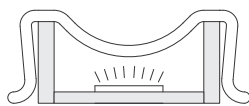


禁止

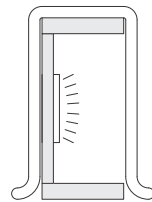
脚を外したり、逆さにしたり、立てたりして使用しない。火災の原因となります。



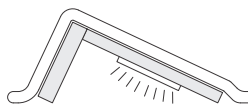
脚を外して使用しない。



こたつを逆さまにして使用しない。



こたつを立てて使用しない。

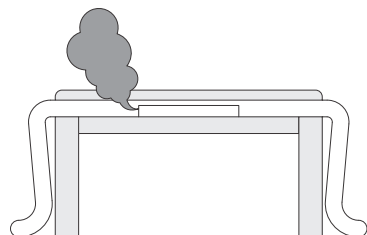


片脚で使用しない。



禁止

ヒーターユニットを上向きで使用しない。

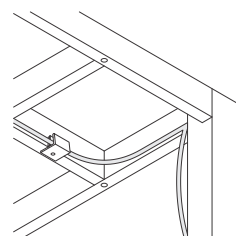


火災の原因となります。



強制

電源コードを固定して使用する。



電源コードを固定せずに使用すると断線やショートを引き起こし、火災や感電、故障の原因になります。

こたつの使い方

ふとん

適正サイズのこたつ用ふとんをお使いください。厚めのふとんを使うと熱が逃げるのを防ぐことができます。

天板

同梱の専用天板をお使いください。交換する際にはテーブルサイズに合ったものをお買い求めください。

電源プラグ

適正配線された家庭用コンセント（電源交流100V/定格15A以上）に差し込んでください。

敷物

こたつ用マットを敷いてください。より暖かく経済的です。

電源コード

コードフックやコードクリップを使い、こたつに固定してお使いください。

温調コントローラー

ふとんの外に出してお使いください。

●ふとんの材質によっては、ヒーターからの熱で変色することがあります。

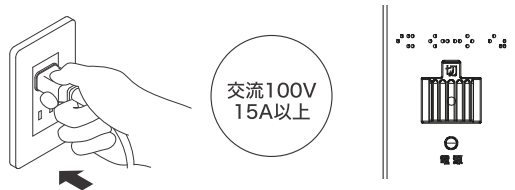
●ヒーターからの熱によって、下記の敷物や床面などは変形、変色、割れ、すき間が生じる恐れがあります。こたつ用マットを敷き、ヒーターからの熱が直接当たらないようにしてください。

- ・熱に弱い敷物の上
 - ・熱に弱い床材の上
 - ・新しい畳の上
- コルクマット、ビーター、寄せ木、白木床、天然木の床、プラスチックシート（ポリプロピレンや塩化ビニルなど）貼りの床など
青畳が直射日光で変色する現象が、こたつの光でも起こります。

ご使用の順序

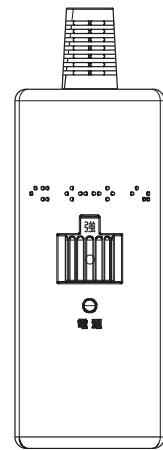
1. 電源プラグを差し込む。

- ダイヤルが「切」になっていることを確認してください。「切」以外になっている場合は、ボリュームを左に回して「切」にしてください。
- 電源プラグを家庭用コンセントにプラグを持って根元まで差し込んでください。根元まで差し込まれていないと、ホコリや湿気などが付着し火災や感電の原因になります。



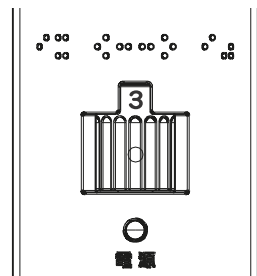
2. 電源を入れる。

- ダイヤルで電源の入り切りをおこないます。ヒーターにスイッチはありません。
- ダイヤルを右にまわし「弱」から「強」に合わせてください。電気が通電され、電源ランプが点灯します。



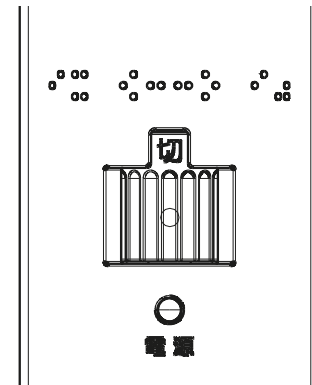
3. ダイヤルでお好みの温度に調節する。

- ダイヤルを「強」にしてこたつ内部を暖めてからお好みの位置に調整すると、より早く暖まります。「弱」「1」～「6」「強」どの位置でもファンは回っています。



4. ご使用後や外出されるとき。

- ダイヤルを左に回して「切」に合わせてください。電源ランプが消灯したことを確認してください。
- コンセントから電源プラグを抜いてください。



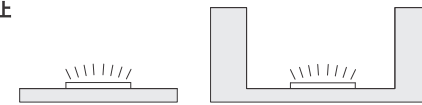
安全上のご注意(必ずお守りください)

警告



禁止

ヒーターユニットを床に直接置かない。

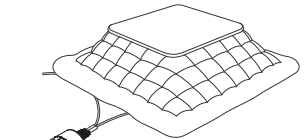


ヒーターユニットは卓用こたつ専用です。床に置いて足温器として使用したり、掘こたつの中に設置したりしないでください。火災の原因になります。



強制

ICリモコンはこたつふとんの外に出して使用する。

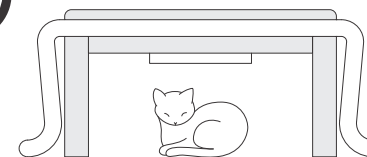


こたつ出入りの際に引っ掛けるなどして、断線やショートを引き起こし、火災や感電、故障の原因になります。



禁止

ペットをこたつに入れない。

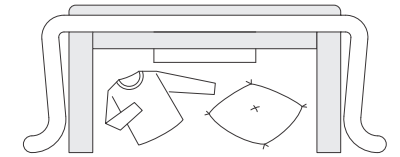


本体や電源コードを傷つけ、火災や感電、故障の原因になります。ペットの健康に悪影響を与える可能性があります。



禁止

衣類や座ぶとん等をこたつに入れたり、洗濯物を乾燥したりしない。

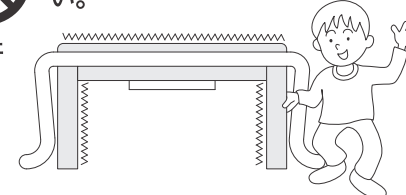


火災の原因になります。



禁止

本体を横に揺らしたり、激しく動かさない。

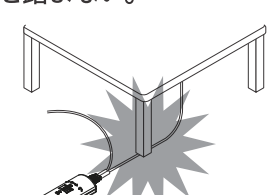


本体や脚の破損、ボルトが欠落し、火災や感電、やけど、故障の原因になります。



禁止

こたつの脚や椅子の脚などで電源コードを踏まない。



電源コードを傷つけ、火災や感電の原因になります。



禁止

天板に重量のある物をのせたり、過度な荷重や衝撃を与えない。

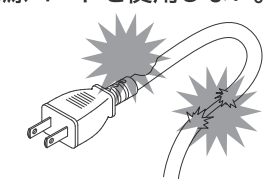


本体が破損し火災や感電、やけど、故障の原因になります。



禁止

被覆の破れや擦り切れ、へこみがある電源コードを使用しない。



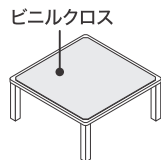
火災や感電、故障の原因になります。こたつをご使用ごとに点検をしてください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

⚠ 注意

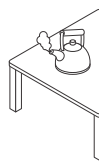
●ビニルクロス等をテーブルに密着させて使用しない。

- ・ビニルクロスが貼りつき、天板の塗装が傷んだり、変色したりする恐れがあります。



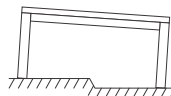
●テーブルに熱いものを直接置かない。

- ・加熱したやかんやなべ、熱い急須やコップ、加熱調理器具などを置くと、天板の塗装が傷んだり、変色したりする恐れがあります。



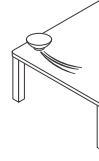
●テーブルを傾きのある場所に置かない。

- ・傾きのある場所に置くと、けがや故障の原因となる恐れがあります。



●テーブルをざらついたものでこすらない。

- ・茶わんや皿など底面がざらついたものでこすると、天板に傷がつく恐れがあります。



●天板が濡れたまま、長時間放置しない。

- ・濡れたままの布巾、濡れたカップ等を置いたままにしますと、天板が変色、変形する恐れがありますので、ご注意ください。天板が濡れた場合は、乾いた布巾等で速やかに拭き取ってください。



●こたつに強い振動や衝撃を与えない。

- ・ヒーターが断線する恐れがあります。また製品の寿命が短くなる恐れがあります。

●他の暖房器具と併用しない。

- ・ヒーターや併用した暖房器具が故障したり誤作動したりする恐れがあります。

●携帯型機器をこたつに入れない。

- ・電池が異常発熱し、やけどの原因となる恐れがあります。

●使用中にヒーターを見つめない。

- ・目に悪影響を与える恐れがあります。

●天板とふとんがない状態で使用しない。

- ・温度制御に異常をきたし、やけどの原因となる恐れがあります。

●こたつを引きずりながら移動しない。

- ・床面が傷つく恐れがあります。

●お手入れにシンナー、ベンジン、漂白剤、アルコールなどを使わない。

- ・天板や脚が変形や変色する恐れがあります。

●他の暖房器具から熱を取り入れるダクトを使用する場合には注意すること。

- ・温度制御が正常に働かなくなることがあります。こたつ本体に直接熱風があたると、塗装が傷んだり変色や変形したりする恐れがあります。

●こたつを熱に弱い床材や敷物の上で使用する場合は断熱をする。

- ・断熱をしないと、ヒーターからの熱によって下記の敷物や床面などは変形・変色・割れ・すき間に生じる恐れがあります。こたつ用マットを敷き、熱が直接当たらないようにしてください。

※熱に弱い敷物

※熱に弱い床材

コルクマット、ビータイル、寄せ木、天然木の床、白木床、プラスチックシート(ポリプロピレンや塩化ビニルなど)貼りの床など

※新しい畳の上

青畳が直射日光で変色する現象が、こたつの光でも起こります。

●ふとんの材質に注意する。

- ・ご使用状況とふとんの材質によっては、ヒーターからの熱で変色することがあります。
- ・すべりやすい材質のふとんを使用する際には、天板が滑る場合がありますのでご注意ください。けがなどの原因になる恐れがあります。

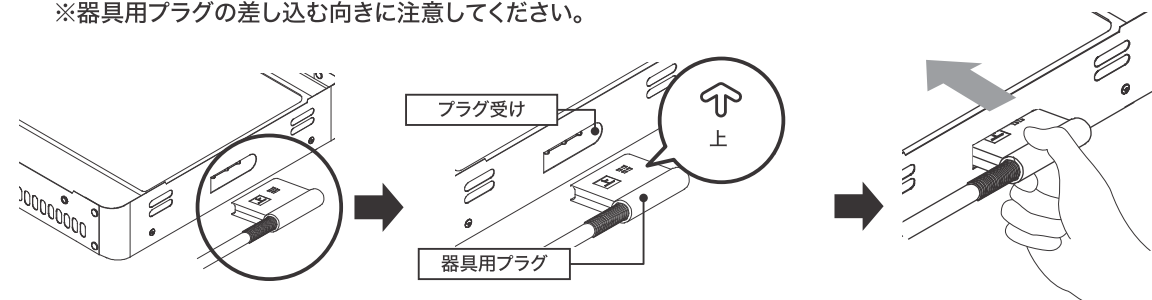
●電源コードが子供の足に引っかからないように子供の行動範囲には注意してください。

- ・転んでけがをする恐れがあります。

ご使用の準備

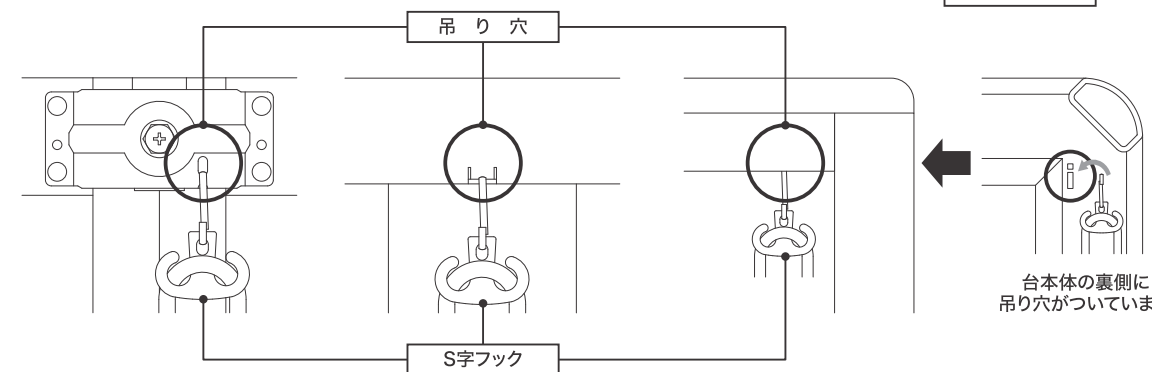
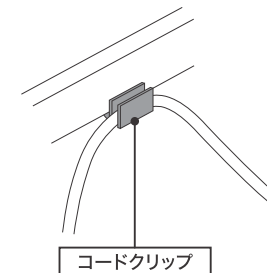
1. 器具用プラグをヒーターユニットに差し込む

- 電源プラグが抜けていることを確認してください。
- 器具用プラグの上側の刻印を確認し、奥まで完全に差し込んでください。
※器具用プラグの差し込む向きに注意してください。



2. コードを固定する

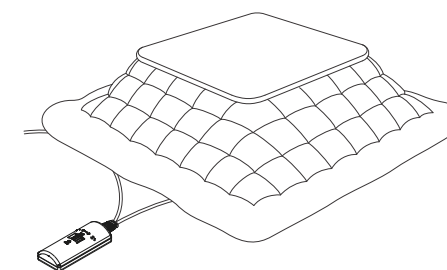
- S字フックとセットになっているメタルクリップを吊り穴に掛けてください。
(電源コードを固定せずに使用すると断線やショートを引き起こし、火災や感電、故障の原因になります。)
吊り穴はこたつ脚付近にあります。下のイラストは代表的な例です。
- コードクリップがある場合は、コードクリップにも掛けてください。
- コードを適切な長さに調整してください。



台本体の裏側に吊り穴がついています

3. ふとんを掛け、天板を置く

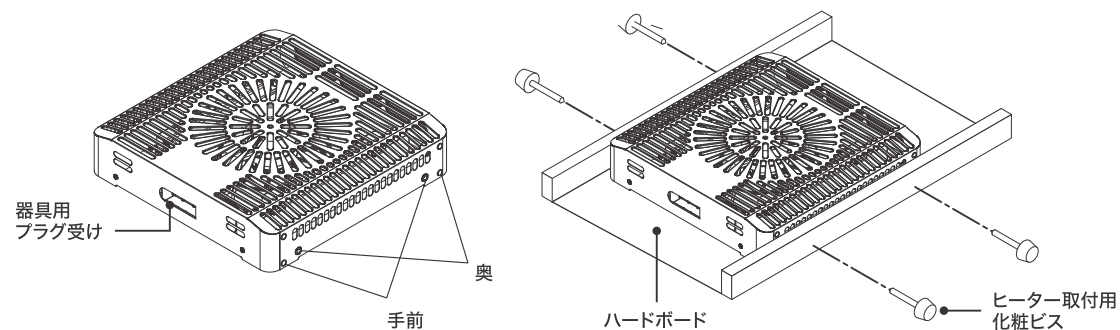
- こたつふとんはテーブルサイズに合ったものをお買い求めください。
- 温調コントローラーはふとんの外に出してください。



ヒーターユニットの取替え方法

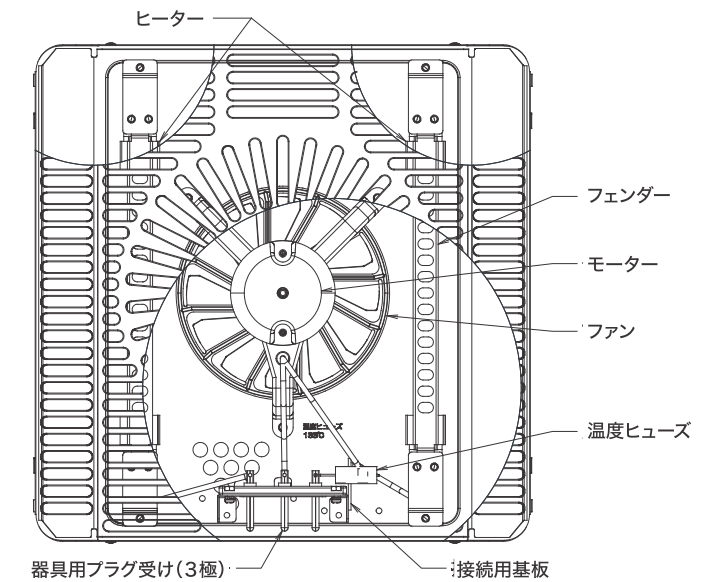
3 幅29cm 取付けネジ間隔20cmの場合

- ・ご使用のテーブルによって、ヒーターユニット取付けの向きが異なります。
古いヒーターユニットを取外す前に、取付けの向きを確認してください。
- ・ヒーターユニット側の取付け穴は「手前」と「奥」の2種類の組み合わせがあります。
古いヒーターユニットがどちらの組み合わせで取付けられていたか確認してください。
- ・ヒーターユニットをヒーター取付用化粧ビス(長いネジ)4本で固定します。
ヒーター取付用化粧ビスが回らなくなるまで締め付けてください。



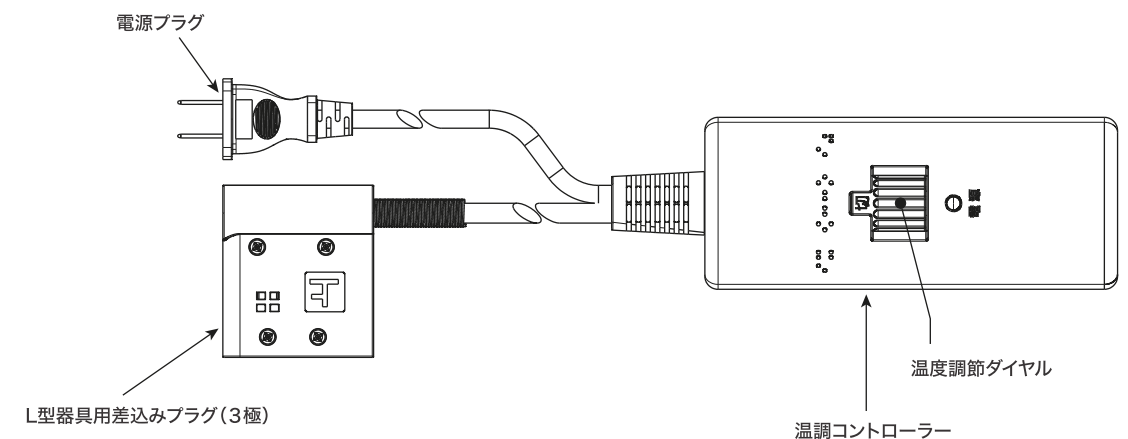
各部のなまえ

ヒーターユニット

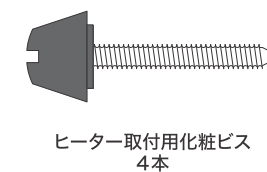


電源コード

＊この製品に付属している専用コードは、他の器具にご使用なれません。



付属品



ヒーター取付用化粧ビス
4本

ヒーターユニット取替え前の確認

1. テーブルサイズの確認

●取替用ヒーターは、下記のテーブルサイズを目安に取替えてください。

タテ(cm)	ヨコ(cm)	タカサ(cm)
60	60	34
65	65	34
75	75	34
80	80	34
75	105	34
80	120	34
90	150	34
90	150	71
150	180	34

2. 木枠サイズと取付けネジ間隔の確認

●木枠サイズと取付けネジ間隔をもとに、該当する番号を確認してください。

●ヒーターユニットの取替え方法 ▶10～11ページ の同じ番号の説明を参考に、ヒーターユニットを取替えてください。

1 木枠サイズ:幅29cm×奥行29cm
取付けネジ間隔:20cm

2 木枠サイズ:幅29cm×奥行33cm
取付けネジ間隔:20cm

3 木枠サイズ:幅29cm
取付けネジ間隔:20cm



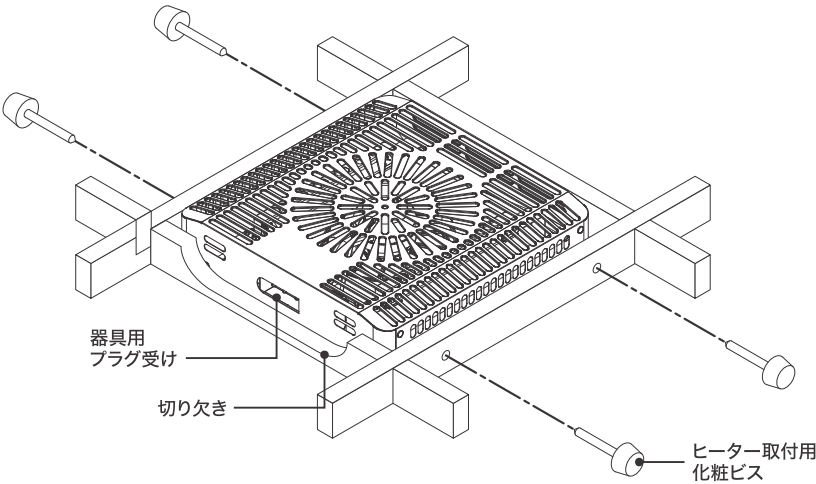
警告

ハードボードの付いているこたつにヒーターユニットを取付けてください。
ハードボードがない状態で使用されると、ふとんがヒーターユニットに直接触れて火災の原因となります。

ヒーターユニットの取替え方法

1 幅29cm×奥行29cm 取付けネジ間隔20cmの場合

- ・切り欠き側に器具用プラグ受けを向けて、ヒーターユニットをはめ込んでください。
- ・ヒーターユニットをヒーター取付用化粧ビス(長いネジ)4本で固定します。
ヒーター取付用化粧ビスが回らなくなるまで締め付けてください。



2 幅29cm×奥行33cm 取付けネジ間隔20cmの場合

- ・器具用プラグ受けを切り欠き側に寄せて、ヒーターユニットをはめ込んでください。
- ・ヒーターユニットをヒーター取付用化粧ビス(長いネジ)4本で固定します。
ヒーター取付用化粧ビスが回らなくなるまで締め付けてください。
- ・切り欠きの反対側に約4cmのすき間ができます。

